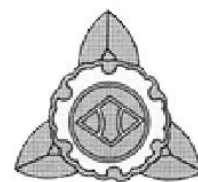


小須戸小学校だより

NO. 3

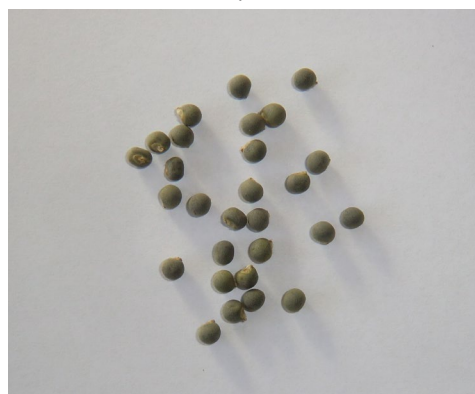
令和4年 9月22日（木） 発行



「分け与える」

校 長 河野 健一

先日の休み時間、校舎を回っていた時のことです。玄関のところで、2年生の女の子から声を掛けられました。「校長先生これあげる。」と手のひらを開くと黒い小さな粒がたくさんありました。「これは何？」と聞くと「オクラの種、たくさんとれたから校長先生にもあげるね。」とオクラの種をいただきました。2年生の生活科で女の子が育てたオクラが大きくなって種がたくさん取れたのでしょう。自分だけでなく他の人にも分けてあげようとする気持ちがうれしいですね。



こんな言葉があります。『幸福を得る本当の道はほかの人に幸福を分け与えることにある。』女の子はきっとたくさんのオクラの種が取れてうれしかった

【いただいたオクラの種】

のでしょう。そのうれしさをほかの人にも分けてあげようと思ったに違いありません。

幸福の定義は人それぞれですが、自分だけでなく周りの人も幸せにならないと幸福感を感じるのは難しいのかなと思います。いただいたオクラの種を来春まいて、たくさんの人に分け与えようと思います。最後に先日読んだ本『マザーテレサ』の中にこんな詩が載っていました。紹介します。【作者は不明】

この世のならい

人はみな理性を失い非論理的で自己中心的です

それでも受け入れなさい

善を為す人を見ると偽善者だとかたくらみを秘めて

いると非難します

それでも善の行いをしなさい

あなたがした施しはすぐに忘れられてしまいます

それでも善がこぼれるほどの施しをしなさい

【中略】

誠実で親切にしてもあなたが傷つけられることがあります

それでも親切でありなさい

【中略】

人には一番いいものを分け与えても何も返ってこない

いと知っていてもどうか分け与えてください

神はしっかりと見てくださいます

あなたの行いのすべてを